

「COP26」英グラスゴーに出展

明星電気株式会社(本社:群馬県伊勢崎市, 代表取締役社長:夏村匡/以下, 明星電気)は, 2021年10月31日から11月12日に英グラスゴーで開催される「第26回気候変動枠組条約締約国会議(COP26)^{※1}」の「ジャパン・パビリオン」に住友林業株式会社(以下, 住友林業)・株式会社 IHI(以下, IHI)と共同で出展いたします。

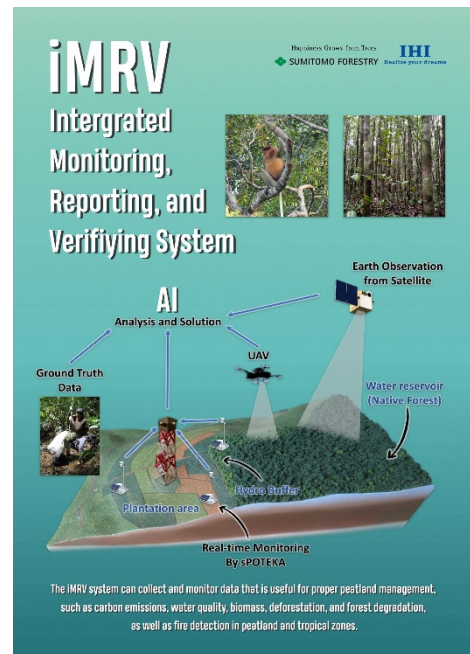
※1 COP(Conference of the Parties)は, 1992年に国際連合の会議により採択された気候変動に関する国際連合枠組条約に基づき, 同条約締約国により1995年から毎年開催されているものです。

住友林業と IHI は今年6月「森林管理コンサルティング事業」と「自然資本の価値を最大化する持続可能なビジネスの開発」に向け業務提携しました。その取り組みに, 明星電気は気象情報や泥炭地の地下水位情報等を地上で計測できる泥炭地情報観測機器を開発・提供する役割をもって参画しており, ジャパン・パビリオン内に当社の気象観測機器「sPOTEKA」を出展いたします。

ジャパン・パビリオンのブース展示では住友林業と IHI が, 地球規模の気候変動対策での熱帯林・熱帯泥炭地の重要性和両社の取り組みを模型とパネルで説明します。住友林業が構築した持続可能な熱帯泥炭地管理モデルと IHI の衛星データ利用技術や気象観測・予測に適用される明星電気の最先端のセンシング技術を組み合わせ, そこから生まれる技術やサービスを世界に展開していく取り組みが紹介されます。



気象観測機器「sPOTEKA」モックアップ



衛星・UAV^{※2}・sPOTEKA・実地調査によるモニタリング結果を AI により解析する, 総合的な測定・報告・検証システム

※2 UAV: Unmanned Aerial Vehicle(無人航空機)

明星電気は住友林業と IHI の協業への参画を通じ, 熱帯泥炭地を有する国々に当社の技術を普及させることにより, 持続可能なカーボンニュートラル社会の実現に貢献していきます。

<参考資料>

・住友林業×IHI プレスリリース

https://www.ihico.jp/ihico/all_news/2021/aeroengine_space_defense/1197565_3351.html

・住友林業とIHIの取り組みについて

<https://www.ihico.jp/csr/english/nextforest/>

・COP26 ジャパン・パビリオンについて

<http://copjapan.env.go.jp/cop/cop26/>

問い合わせ先: 明星電気株式会社 総務人事部 広報担当

TEL: 0270-32-1111 E-Mail: cs@meisei.co.jp